

障害児支援「ミュージズの夢」10周年

心身にさまざまなハンディのある子どもたちに、音楽や創作アート教室を開いている仙台市のNPO法人ミュージズの夢が24日、青葉区の市青年文化センターで、設立10周年を記念したコンサート「音楽パスでかけよう」を開く。

コンサートは2部構成。前半はミュージズの夢の生徒と、会員のプロ音楽家が演奏する。曲目はモーツァルト「ピアノ三重奏曲」、マリリンバデューオによる「八木節」など。宮城県立盲学校（現視覚支援学校）卒業生らによる金管楽器アンサンブル「仙台カプリエリ・ブラス」が客演し、「となり」の「トトロメドレー」などを披露する。

希望の軌跡 凝縮

コンサートは国際交流の場も兼ねる。病氣や障害のある子どもを対象に、手作り人形を通して自分の想像力や外の世界と出会う活動をしている米・ニューヨークの非常利団体「Happy Door」からミュージズの夢に人形100体が贈られ、ミュージズ側からも米国に100体を贈るといふ。

演奏と音楽劇の2部構成



子どもの大きな可能性を感じた10年だった。これ

仙台で24日コンサート

までの成果を見せたい」と話している。午後2時開演。入場料1000円。連絡先はミュージズの夢022(267)9540。10周年記念コンサートに向けて、練習に励むミュージズの夢の生徒たち

社会貢献大賞に「ミュージズの夢」

仙台で表彰式

財団法人愛知揆一福祉

振興会(愛知絢子理事長)が主催する第5回みやぎ社会貢献大賞が、仙台市のNPO法人「ミュージズの夢」(仁科篤子理事長)



愛知理事長(右)から賞状を受け取る仁科理事長

に決まり、同法人の事務所で26日、表彰式が行われた。

ミュージズの夢は2001年に設立、02年にNPO法人の認証を受けた。仙台市内の教室などで心身に障害のある子どもたちに音楽やアートに触れる機会を提供している。表彰式では、愛知理事長から仁科理事長に賞状と賞金100万円が贈られた。仁科理事長は「非常にうれしい。障害の有無を超え、音楽などを通

して仲間づくりができたことを発信し続けたい」と喜びを語った。愛知理事長は「子どもたちを支援するというだけではなく、明るく、元気をくれる活動を展開している点が素晴らしい」と話した。

2011
1/21
河北新報
朝刊
掲載

ショパンの調べに 勇気と希望乗せて

全盲の女子高生・仙台の庄司さん

ヘレン・ケラー音楽コンクール3位入賞



仁科さんの自宅のレッスン室で、彩夏さん(右
手前)を囲む(左から)仁科さん、美和さん、
佐藤さん。仙台市青葉区

「音楽って楽しい」との思いでピアノに向き合う宮城県視覚支援学
校(仙台市青葉区)の全盲の女子生徒が昨年、東京であった「第60回
ヘレン・ケラー記念音楽コンクール」で入賞した。ショパンの難曲に
挑み、「もっといろいろな曲を弾きたい」と張り切る17歳を、周りの人
たちも「みんなの勇気になる」と温かく支える。

入賞したのは高等部2
年の庄司彩夏さん(青葉
区)。視覚障害のある学
生を対象にした昨年11月
のコンクールで、高校生
ピアノの部で優勝に次ぐ
3位(2位は該当者なし)
に入った。

舞台ではショパンのポ
ロネース第一番を演奏し
た。激しく叙情的な10分
近い曲を弾きこなし「入
賞はびっくりで、うれし
かった」と振り返る。
幼いころ住んだ三重、
神奈川両県では、リズム
やバイオリンの教室に通
った。母美和さん(44)は
「目が不自由でも不可能
はないよと、娘は励まし
た」と語る。
小学2年でピアノを始

猛練習半年、難曲完璧に

めた。仙台に移り、ピエ
ニスト仁科篤子さん(55)
と出会ったのが縁だ。鉛
筆を握って書く経験がな
く、音を鳴らす力も弱か
った。鍵盤の幅も指で覚え
た」と仁科さん。周囲も
「頑張り屋さん」と認め
る彩夏さんは、仁科さん
に少しずつ弾いてもらっ
た曲を録音し、家で何度
も聴いて練習した。
仁科さんにとっても彩
夏さんとの出会いは、活
動の幅を広げるきっかけ
になった。2002年、
心身にハンディのある子
ども向けに音楽教室を開
くNPO法人「ミュージズ
の夢」を設立した。
ミュージズの教室で、彩
夏さんは「エリーゼのた
め」を手始めに、発表会
のためにレパートリーを
増やした。教室では1人
ではなかった。合奏する
仲間に出まれ、「すごく楽
しい」と充実していた。

「もっといろいろな曲弾きたい」

「最初で最後の挑戦だ
と思って応募した」とい
うコンクール。選んだシ
ョパンの曲は、冒頭の激
しい音律をつまき弾けな
かった。
その「難所」をミュー
ズ講師の佐藤庸子さん
(38)とともに、フィギュ
アスケートの浅田真央選
手(中京大)のジャンプ
になぞらえ「トリプルア
クセル」と名付けて猛練
習。本番では「数小節ず
つ、半年かけて覚えた」
(佐藤さん)という努力
が実り、初めて完璧に弾
き切った。
同じ全盲でパン・クラ
イバーン国際ピアノコン
クールで優勝した辻井伸
行さんにあこがれる。2
年前、辻井さんが仙台で
演奏会を開いた際に会場
で、握手を交わした感激
は今も忘れない。
彩夏さんは「(昨年12
月の)終業式で校長先生
から表彰してもらった。
練習がつかいこともあっ
たけれど、いろいろな曲に
挑戦したい」と笑う。